

広島県知事と広島市長が核兵器廃絶の取り組みを世界に発信します！
国連本部で初の広島県・広島市合同イベントの開催について

広島県では、人類初の原子爆弾による破壊から復興した地として、核兵器廃絶と復興・平和構築に包括的に取り組むために、広島が果たすべき使命と役割を「国際平和拠点ひろしま構想」としてまとめています。この構想を実現するための取組の一環として、核兵器廃絶を願う多くの人々が集う NPT（核拡散防止条約）運用検討会議第3回準備委員会の開催に合わせて広島県・広島市合同イベントを開催し、核兵器廃絶に向けた広島県と広島市の取組を、世界に発信します。

ご多忙のことと存じますが、ご取材を賜りますようお願い申し上げます。

- 1) 開催日時
平成26年4月30日（水） 13:15～14:30（現地時間）
- 2) 場所
国連本部 会議室B（Conference Room B, United Nations Headquarters, New York, N.Y.）
- 3) 主催 広島県
- 4) 対象者
NPT運用検討会議第3回準備委員会に参加する各国代表団、国連機関、国際機関、NGO関係者（50名程度）
- 5) テーマ・内容
2015年NPT運用検討会議に向けた取組について ～広島の実験を活かして～

| 時間 | 内容 |
|-------------------------------|--|
| 【スピーチ】13:15～13:30 | <ul style="list-style-type: none"> ◆核兵器廃絶に向けた広島の取組 ○知事「『国際平和拠点ひろしま構想』の推進」 ○広島市長「『2020ビジョン』の推進」 |
| 【パネル・ディスカッション】 13:30～14:30 | <ul style="list-style-type: none"> ◆核兵器の人的影響を踏まえた核兵器廃絶の取組 ◆各国の核軍縮、不拡散等の取組状況のモニタリング <コーディネーター> ・一橋大学国際・公共政策大学院 教授 秋山信将 <パネリスト> ・広島知事 湯崎英彦 ・広島市長 松井一實 ・原子力委員会 委員 阿部信泰 ・赤十字国際委員会（ICRC） 国連代表部 首席代表 ウォルター・フュレマン ・核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）※出席者調整中 ・リーチング・クリティカル・ウィル 代表 レイ・アチソン ・モントレール国際大学 不拡散教育 プログラム プロジェクト マネージャー 土岐雅子 |

- 6) 使用言語
英語（日本語同時通訳あり）
- 7) 取材対応
報道機関による取材が可能です。
国連施設入場にあたっては入場パスが必要ですので、下記を通じて手続きしてください。
Media accreditation and Liaison Unit
(Tel. +1-212-963-6934 又は+1-212-963-6937、Fax: +1-212-963-4642、Email: malu@un.org)

《本件に関するお問い合わせ》

広島県平和推進プロジェクトチーム 担当：下崎（しもざき）・谷村

TEL:082-513-2366 FAX:082-242-7452

核兵器廃絶・国際平和実現に向けた広島県の取組（抜粋）

1. 「国際平和拠点ひろしま構想」の策定

「国際平和拠点ひろしま構想」は、人類史上初の原子爆弾により破壊され、その廃墟から復興した広島に与えられた使命と役割について、平成23年10月、広島県が国内外の有識者の参加を得た委員会から提言を受け、取りまとめたものです。

広島県では、この提言に基づいて、核兵器のない平和な世界の実現に向けて、広島の2つのシンボル性を生かして、核兵器の廃絶と安定した平和な社会の構築に向けて包括的な取組を進めていくこととしています。

[構想本文（日本語版・英語版）]

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/48452.pdf>

2. 核軍縮に関する「ひろしまレポート」のとりまとめ

核軍縮、核不拡散及び核セキュリティ分野における各国の取組状況を調査・分析した結果を「ひろしまレポート」としてまとめています。このレポートを国内外に広く発信することで、国際社会における核兵器廃絶に向けた世界的な気運がより一層高まるとともに、各国における核軍縮に向けた新たな取組につながることを期待するものです。

[ひろしまレポート（日本語版・英語版）]

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/peace/hiroshimareport2014.html>

3. 「ひろしまラウンドテーブル」の開催

昨年7月、政治的な緊張が高まる東アジア地域における核軍縮・軍備管理の推進をテーマとして、関係各国の専門家や元外務大臣等の有識者による多国間協議の場である「ひろしまラウンドテーブル」を開催しました。

こうした取組を通して、被爆地広島として、核兵器廃絶のプロセスの進展を支援していきます。

4. ひろしま復興・平和構築研究のとりまとめ

原子爆弾で破壊された広島に与えられた復興のプロセスを社会の各分野（都市計画、産業経済、保健・医療など）にわたって調査・研究し、報告書として取りまとめました。報告書を通じて広島の復興の知見を広く発信するとともに、JICA、ユニタール等関係機関と連携しながら、報告書の教材化を進め、復興・平和構築の人材育成に活用していきます。

[ひろしま復興・平和構築研究報告書]

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/peace/fukkoheiwakenkyu.html>

(参考) 知事の米国訪問について

NPT運用検討会議第3回準備委員会に参加し、同会議に参加する国や国連機関、国際機関、NGOに対して、「国際平和拠点ひろしま構想」や「ひろしまレポート」をはじめとする本県の取組を紹介するとともに、各国の政府関係者、研究機関・財団関係者等との会談を設定し、本県の平和の取組等について意見交換することにより、本県の平和の取組を世界に発信します。

1 内容

(1) 期 間

平成26年4月24日(木)から5月2日(金)(7泊9日)

(NPT運用検討会議第3回準備委員会:平成26年4月28日(月)～5月9日(金))

(2) 場 所

ニューヨーク、ワシントン

(3) 参加者(計7名)

知事、関係職員5名

阿部信泰氏(前日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター所長)

2 主な用務

(1) NPT運用検討会議第3回準備委員会への参加

同会議に参加し、サイドイベントの開催(別紙参照)や個別の面談を通じて、参加国や国連機関、国際機関、NGOに対して、本県の平和の取組を紹介

(2) 政府関係者等との意見交換

政府関係者、研究機関・財団関係者等と本県の平和の取組等について意見交換(具体的な面会者については調整中)

(3) 大学等での講演会の実施

ジョージタウン大学やコロンビア大学等で、究機関・大学関係者や学生に対して、本県の平和の取組を紹介し意見交換

【日程(予定)】

| 月日 | 内容 | 場所 |
|----------|---|--------|
| 4月24日(木) | (移動) 国家安全保障会議(NSC)関係者訪問 核脅威イニシアティブ(NTI)訪問 ジョージタウン大学での講演会 | ワシントン |
| 4月25日(金) | 戦略国際問題研究所(CSIS)関係者との意見交換 外交問題評議会(CFR)関係者との意見交換 | ワシントン |
| 4月26日(土) | (移動) | ニューヨーク |
| 4月27日(日) | — | ニューヨーク |
| 4月28日(月) | NPT準備委員会への参加(国連本部) | ニューヨーク |
| 4月29日(火) | NPT準備委員会への参加(国連本部) コロンビア大学での講演会 | ニューヨーク |
| 4月30日(水) | NPT準備委員会への参加(国連本部) サイドイベント(パネルディスカッション)の開催 | ニューヨーク |
| 5月1日(木) | (移動) | 機中泊 |
| 5月2日(金) | (移動) | — |